



全国学力・学習状況調査問題を基にした 授業改善のポイント～国語編～

©岡山県「ももっち」

全国調査問題は、全学年を通じた学習指導の改善・充実を図るための参考にすることができます。今号では、国語科の問題を基にした授業改善のポイントを紹介します。各校における取組の参考にしてください。

小学校国語 大問3 経験を基に考えたことを書く（六年生としてがんばりたいこと）

解説資料



■ 出題の趣旨 **P34**
文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。

自分の文章にはどのようなよさがありますか？

設問二



私の文章のよさは、今年が
 がんばりたいこと伝えるために、
 ○○さんの話を最後の段落に
 具体的に書いたことです。



文章を書きなおすと、自分の
 考えがはっきりするし、相手
 にも伝わりやすくなる！

※ 「B 書くこと」の「共有」に関する指導事項を全国調査で取り上げることは初めてです。

POINT① 解説資料や学習指導要領解説を読み、単元（本時）で付けたい力を確認する。

この学習場面で付けたい力は、「**文章全体の構成や展開が明確になっているかなどの観点から、自分の文章のよいところを見付ける力**」ですね。



POINT② 児童生徒の学びの姿とそれを実現するための教師の働き掛けを確認する。

児童生徒の学びの姿

〈主体的に学ぶ姿〉

- ・学習前後の学びの変容を実感している。
- ・粘り強く修正や改善をしている。
- ・自分の考えをもっている。 …

〈対話的に学ぶ姿〉

- ・友達に進んで質問し、助言を参考にして学んでいる。
- ・教師の発問から考えを広げている。 …

〈深い学びの姿〉

- ・比較や関連付けをして、自分の考えを深めている。
- ・今後の学びで生かせる汎用的な知識になっている。 …

参考：主体的・対話的で深い学びの実現に向けた
 学習者と授業者の視点（2020年 国立教育政策研究所）

教師の働き掛け



児童が主体的に学べるように、前時までに「事実と意見を分けて書く」など**推敲の観点をまとめておく**とよいですね。

既習の観点到って見直すようにすることで、児童は自信を持って推敲することができますね。



「共有」では、**既習の観点到って具体的に感想を伝え合うように**することで、文章のよいところを見付ける力が育ちますね。

自分の文章のよいところを書くようにすることで、知識の定着と学ぶ意欲の高まりが期待できますね！



POINT③ 「主体的・対話的で深い学び」を実現する教師の働き掛けを各教科や各学年に生かす。

体育科のマット運動の授業で、練習前後のフォームを一人一台端末を使って撮影し、**比較する場面を設定**してみました。評価の観点も明確にしたので、よい振り返りができました！



学習前後の学びの変容を実感するための工夫ですね。美術科や音楽科でもできそうですね！

単元のまとめで、自分の考えを文書作成ソフトを使って書き、コメント機能を使って**互いに助言し合う場面を設定**してみました。とてもいい表情でお互いのコメントを読んでいた。



他者の助言が記録に残るので、よい点や改善点を見出しやすいですね！



学力向上担当者が中心となって工夫や手立てを教職員全体で共有しましょう

全国学力・学習状況調査の問題分析や実施後の取組の検討等と併せて、先生方の工夫や手立てを教職員全体で共有することも学力向上担当者の大切な役割です。教務主任や研究主任の先生、授業改革推進チームの先生方等と連携しながら、授業改善の風土づくりに取り組みましょう。

一歩先へ！

